

各 位

会 社 名 イーター電機工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 北川 浩
 (JASDAQ・コード 6891)
 問い合わせ先 代表取締役専務 山本 浩之
 (電話 03-3745-6740)

特別利益、特別損失の発生及び平成 23 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 17 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)の業績予想(連結・個別)について、特別利益及び特別損失が発生したため、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生について

当社連結子会社の山陽電子工業株式会社において、得意先と締結した業務委託基本契約について、先方の申出でによる中途解約に伴い、損失補償金を受領いたしました。

これにより、受取補償金 35 百万円を特別利益として計上いたします。

2. 特別損失の発生について

(1) 投資有価証券評価損の計上

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、投資先が破産申立てを行なったため、減損処理による投資有価証券評価損として 2 百万円を計上いたします。

(2) 貸倒損失の計上

当社取引先の破産申立てを受け、同社に対する債権を貸倒損失として 8 百万円を計上いたします。

(3) 持分変動損失の計上

平成 23 年 3 月期第 2 四半期におきまして、当社連結子会社である山陽電子工業株式会社の第三者割当増資に伴い、持分比率が変動したことにより、四半期連結損益計算書上において持分変動損失 338 百万円を計上いたします。

3. 業績予想の修正について

(1) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	3,885	255	200	160	19 円 12 銭
今回修正 (B)	4,043	167	62	△352	△42 円 7 銭
増減額 (B-A)	158	△88	△138	△512	
増減率 (%)	4.1%	△34.5%	△69.0%	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3,449	△3	△84	△47	△5 円 65 銭

(2)平成23年3月期通期連結業績予想の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	7,620	595	480	460	54円98銭
今回修正 (B)	7,600	350	250	△170	△20円32銭
増減額 (B-A)	△20	△245	△230	△630	
増減率 (%)	△0.3%	△41.2%	△47.9%	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	6,372	△271	△444	△408	△48円81銭

(3)平成23年3月期第2四半期累計期間個別業績予想の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1,941	184	130	127	15円18銭
今回修正 (B)	1,942	45	47	△68	△8円13銭
増減額 (B-A)	1	△139	△83	△195	
増減率 (%)	0.1%	△75.5	△63.8%	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,736	51	△28	△25	△2円99銭

(4)平成23年3月期通期個別業績予想の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	4,021	487	379	365	43円63銭
今回修正 (B)	3,980	140	40	30	3円59銭
増減額 (B-A)	△41	△347	△339	△335	
増減率 (%)	△1.0%	△71.3%	△89.4%	△91.8%	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	3,201	△174	△343	△351	△42円7銭

4. 修正の理由

(1)連結業績について

①第2四半期連結累計期間業績

売上高

売上高につきましては、当社の主要な事業領域である電源機器関連事業において、受注の増加に伴い国内の売上げは堅調に推移したものの米国及び欧州の子会社においては景気減速傾向が止まらないまま、予想よりも低位にて推移いたしました。

営業利益

海外子会社の売上高が伸び悩んだ事に加えて、製造部門では半導体関連部品の品薄感等により、原材料部品の予定納期に沿った調達が困難な状況が続く中、生産計画を維持していく為に、通常外仕入レートからの割高な部品の調達も含め、予定外の経費の発生を誘発している状況にあり、収益改善計画の推進に弾みがかからないまま推移いたしました。

その結果、営業利益を前回予想の255百万円から167百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の修正に加えて、外貨建て資産等について円高による評価損の計上を主な要因として計画値を下回りました。

その結果、経常利益を前回予想の200百万円から62百万円に修正いたしました。

四半期純利益

経常利益の修正に加え、前述の特別利益及び特別損失を計上する事といたします。

その結果、四半期純利益を前回予想の 160 百万円から四半期純損失 352 百万円に修正いたしました。

②通期業績

売上高

売上高につきましては、当社の主要な事業領域である電源機器関連事業において、国内の売上は引き続き堅調に推移すると予想されますが、米国及び欧州の子会社における大幅な増加は厳しいものと予想いたします。

営業利益

製造部門におきましては、原材料の安定的調達に向けた施策の実現を中心とした、製造原価低減の効果の発現も見込めることから、収益の改善は進むものと考えられますが、第2四半期実績を踏まえ、営業利益を前回予想の 595 百万円から 350 百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の修正により、経常利益を前回予想の 480 百万円から 250 百万円に修正いたしました。

当期純利益

経常利益の修正に加え、前述の特別利益及び特別損失により、当期純利益を前回予想の 460 百万円から当期純損失 170 百万円に修正いたしました。

(2)個別業績

①第2四半期連結累計期間業績

売上高

売上高につきましては、受注の増加に伴い国内の売上は堅調に推移いたしました。

営業利益

製造部門におきまして、半導体関連部品の品薄感等により、原材料部品の予定納期に沿った調達が困難な状況が続く中、生産計画を維持していく為に、通常外仕入レートからの割高な部品の調達も含め、予定外の経費の発生を誘発している状況にあり、収益改善計画の推進に弾みが見つからないまま推移いたしました。

その結果、営業利益を前回予想の 184 百万円から 45 百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の修正に加えて、外貨建て資産等について円高による評価損の計上を主な要因として計画値を下回りました。

その結果、経常利益を前回予想の 130 百万円から 47 百万円に修正いたしました。

四半期純利益

経常利益の修正に加え、前述の特別損失のうち、(1)投資有価証券評価損と(2)貸倒損失を計上することといたします。(3)持分変動損失については、個別業績に与える影響はありません。

その結果、四半期純利益を前回予想の 127 百万円から四半期純損失 68 百万円に修正いたしました。

②通期業績

売上高

売上高につきましては、国内の売上は引き続き堅調に推移すると予想されます。

営業利益

製造部門におきまして、原材料の安定的調達に向けた施策の実現を中心とした、製造原価低減の効果の発現も見込めることから、収益の改善は進むものと考えられますが、第2四半期実績を踏まえ、営業利益を前回予想の 487 百万円から 140 百万円に修正いたしました。

経常利益

営業利益の修正により、経常利益を前回予想の 379 百万円から 40 百万円に修正いたしました。

当期純利益

経常利益の修正に加え、前述の特別損失のうち、(1)投資有価証券評価損と(2)貸倒損失の計上により、当期純利益を前回予想の 365 百万円から 30 百万円に修正いたしました。

なお、特別損失のうち(3)持分変動損失については、個別業績に与える影響はありません。

(注)上記業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上